

若手推進チーム概要



1 概要

富士宮市では、JR 富士宮駅前に整備予定の町家型宿泊施設を契機として、「泊まりたくなるまち」「歩きたくなる夜」の創出を目指し、若手職員や地域おこし協力隊による「若手推進チーム」を立ち上げました。

本チームでは、従来の観光施策やイベント中心の発想ではなく、若者世代のリアルな感覚や本音をもとに、富士宮の夜の魅力や居場所づくりについて自由な意見交換を行っています。

2 設立のきっかけ

富士宮市では、これまで宿泊施設の誘致を進めてきましたが、「富士宮に泊まる理由が弱い」、「夜の滞在価値が少ない」、「通過型観光になりやすい」といった課題が見えてきました。

また、新たに整備される町家型宿泊施設では、宿泊者が夜の市街地へ回遊することも期待されています。

こうした背景から、「若い世代は夜の富士宮をどう感じているのか」、「地元の人を楽しい夜はどんなものか」を若手世代自身が考え、語り合う場として、本チームを設置しました。

3 構成員

・市関係部署若手職員

【企画部】

・企画戦略課 1人

・富士山世界遺産課 1人

【産業振興部】

- ・食のまち推進室 1人
- ・商工振興課 1人
- ・観光課 1人

- ・地域おこし協力隊

→3人 ※開催時期により、インターン生がメンバーになる可能性あり

所属部署の枠を超え、フラットに意見交換を行うことを特徴としています。

4 会議について

(1) 開催頻度

月1回程度（通常は、第3月曜日を予定）

(2) 開催場所

エキマエ Challenge House CHILL IN

(3) 内容

「富士宮の夜に必要なもの」をテーマに、

- ・夜の過ごし方
- ・若者の居場所
- ・市街地回遊
- ・ナイトコンテンツ
- ・夜の空気感や景色
- ・ローカルな魅力発信

などについて、自由な意見交換やアイデア出しを行います。

5 今後について

今後は、宿泊者や来訪者が夜の富士宮を楽しめるよう、夜の飲食店やまち歩きを含めたモデルコースなど情報発信のあり方について検討を進めていく予定です。

また、市街地回遊や若者の居場所づくりにつながる取組についても、自由なアイデアを出し合いながら検討していきます。

また、会議の様子やアイデア、検討過程については、富士宮市公式ホームページで随時発信していく予定です。